

## 第 3 回 土壁再生シリーズ公開研究会

1300 年の歴史を持つ土壁のさまざまな優れた特性に対する正しい知識と最新の研究成果を学び、京都を代表する土壁文化を住まい・まちづくりに活かして次世代につなげていくための各種課題の解決策を協働で研究し、成果を社会に還元するシリーズ公開研究会第 3 回を開催いたします。

同活動は、市民、建築設計者、施工者、左官技能者、研究者、行政等のさまざまな分野のメンバーによる協働研究体制で取り組む予定です。お気軽にご参加下さい。

### 第 3 回「土壁の優れた耐震性の公的評価を得るために」

京都の土壁は実験では高い耐力が確認されながら建築基準法の告示仕様に適合していないため、法令上の評価は低く、一般によく使われるようにはなっていない。そのため、京都の土壁の優れた耐震・耐久特性が公的に評価されるための具体策を学ぶ。

#### 1. 京都の土壁の優れた耐震特性

KARTH(関西木造住文化研究会)の既往実験では、京都の左官職が一般に使っている材料と施工方法で製作した京町家仕様の標準的な土壁が優れた耐震性能を保有していることが確認されている。同実験結果を中心に、京都の土壁の耐震性能の高さを他の材料・工法と比較をしながらわかりやすく学ぶ。

京都の土壁の優れた耐震特性

田村 佳英 (KARTH 防火・耐震研究チーム、悠計画研究所)

土壁の材料特性と強度や耐力との関連

輿石 直幸 (早稲田大学教授)

#### 2. 京都型土壁の優れた耐震・耐久特性の公的評価を得るために

高復元力の京都型伝統土壁を安定して施工し維持管理する仕組みづくり

竹小舞下地土壁の優れた耐震・耐久特性が適切に評価されるためには、性能評価機関と協議を重ねて、1) 京都の土壁の高い復元力特性を安定して実現できる仕様書を作成すると共に、2) 性能検証方式と 3) 施工管理体制を確立し、4) 性能評価機関が発行する性能評価書を取得して公的な評価を得ることが最も有効と考える。そのために国(国土交通省)が求める仕様の考え方や要点を性能評価機関の担当者から学ぶ。

完山 利行(一般財団法人 日本建築総合試験所試験研究センター  
構造部構造試験室上席専門役)

左官技能者の立場から考える

土壁の耐力を実現・維持するための品質管理の要点

上記の伝統的な土壁工法について、左官技能者の創意工夫を損なわずに、現場で容易に土壁の耐力を実現し維持管理できる品質管理の要点を考える。

さらに、現代の建築工法に適應した新しい現代型土壁工法について、左官技能者の立場からみた技術開発の課題を学ぶ。

奥田 信雄 (奥田左官工業所)



京都の土壁の水平耐力試験 (H15年度KARTH研究、試験体土塗り製作：京都左官協同組合、京都府左官技能専修学院)\*

会場 西陣ヒコバエノ家 (京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町632)  
 参加費 無料、但し、資料代実費 500 円、  
 なお研究会終了後に同会場で懇親会を開催します (参加費 500 円)。  
 定員 50 名 (参加申込み先着順)

参加方法

9/26(水)迄に、お名前、所属、電話・FAX番号、メールアドレス、懇親会参加の有無を明記の上、FAXまたはメール、電話で下記にお申し込み下さい。  
 お申込みと同時に参加受理とさせていただきます (ご連絡は省略させていただきます)。  
 研究会のワーキングメンバーとしてご協力頂ける方はその旨も併記下さい。

参加申込先 関西木造住文化研究会 (略称 KARTH: カース)

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725

E-mail [info@karth.sakura.ne.jp](mailto:info@karth.sakura.ne.jp) <http://karth.blog13.fc2.com/>

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632



会場の土壁の町家

(日本で初めて実験で防火・耐震改修の有効性を検証した町家)

土壁再生シリーズ公開研究会 (午後 1 時半 5 時、開場: 午後 1 時、会場: 第 3 回と同じ)

第 1 回「企画会議 みんなで土壁の再生方法を考えよう」5/6 (日)

第 2 回「土壁をさまざまな用途、構造、規模の建物に使えるようにするための防火上の課題と対策」7/29 (日)

第 3 回「土壁の優れた耐震性の公的評価を得るために」9/30 (日)

第 4 回「土壁の家に暮らすー手入れと地震後の補修・補強方法ー」  
11/25 (日)

土壁は塗り重ねたり、壁土を落とした後にその土を再使用して塗り直すこともできるため、適切な設計・施工と定期的な手入れをすれば性能が半永久的に持続し、耐力も低下し難く、長寿命の住まいにできます。地震で損傷しても壁土を落として適切に補修・補強をすれば再使用できます。その要点を学ぶと共に、知識不足、修復技術者不足によって地震時に土壁文化、木造伝統文化が一気に消滅するのを防ぐための「土壁修復ネットワークの構築」に取り組む予定です。

第 5 回「土壁の住まいの断熱性を高める」平成 25 年 1/27 (日)

自然材料で作られた土壁は、調湿性、CO<sub>2</sub> やホルムアルデヒドの吸収効果、抗菌性、蓄熱性等のさまざまな優れた特性を持ち、再利用・廃棄後は土に還ります。これらの特性を活かして土壁の住まいの断熱性を高め、地球環境にも負荷をかけずに健康で快適な生活を送るための要点、及び土壁を外壁や外廻りに使う場合の設計・施工・メンテナンスの要点を各種事例を通して学びます。

主催 京都左官協同組合、関西木造住文化研究会

共催 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

協賛 一般社団法人 日本建築学会近畿支部、社団法人 京都府建築士会、

協賛 一般社団法人 京都府建築士事務所協会

後援 京都市、京都府

その他 会場には駐車場はありません。

会場



会場への交通アクセス (角地、お地蔵さんのある家、東隣: 月極駐車場)

バス停「今出川浄福寺」又は「千本上立売」、「千本今出川」より徒歩 5 分

JR 京都駅より (所要時間 約 40 分)

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口を出た後、交差点の東側バス停から今出川通の西行きバスに乗車、「今出川浄福寺」下車  
 市バス利用の場合: A3 の 206 番乗車、バス停「千本上立売」下車、  
 または B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車